

平成23年2学期 終業式の挨拶

茨木支援学校 准校長 小林 信恵

みなさんおはようございます。今日は第二学期の終業式ですね。二学期は一番長い学期です。たくさんの行事がありました。体育大会、小学部修学旅行、高等部宿泊学習、修学旅行、職場体験実習、芸術鑑賞会、银杏祭。これらの行事一つ一つにみんな一生懸命に頑張っていて、チャレンジして、とっても大切な思い出に残る経験をする事ができたと思います。

今年は悲しいことに災害の年となりました。

3月11日に東日本大震災が起きました。9か月が過ぎました。被災されたみなさんは、まだまだ不自由な生活環境の中でがんばっておられます。

9月2日には、台風12号が近畿に上陸して、和歌山県・奈良県が大きな被害を受けました。ある村は、なくなってしまいましたね。

「私の言いたいこと」の中で、小学部のお友だちが大震災の事を書いていました。紹介します。「テレビを見て悲しくなりました。町を戻して欲しかったです。ぼくが大人になるころには、町が元に戻ってみんなが笑顔で暮らせますように。」

本当にそうですね。今、先生たちや保護者の方たちで、災害時の防災について、みんなを守るために色々と考え、取り組んでいます。1学期の時にも言いましたが、「今私にできること」を常に考え、共にがんばっていきたいと思います。

1学期の始業式に、高塚校長先生から2つ大切なお話がありました。覚えていますか？

「一つ目は、あいさつをしましょう。」でした。「二つ目は、目標をもって、学校生活を送りましょう」でした。

2学期の始業式には、「自分自身を信じてチャレンジしましょう。」でした。

一人ひとり、自分はできたかな？と振り返ってみてください。自分自身悔いのない学校生活を送りましょう。

明日から冬休みが始まります。短い休みですが、行事が大晦日、お正月とありますね。たくさんの経験を積んでください。インフルエンザにかからないように、早寝早起きをして生活リズムを崩さず。健康に注意して1月10日に茨木支援学校180名の全員が元気に集合するようにとと思います。